

## 折々の記 No214 : ココフレンドの可能性は無限！

(H25/11/18 記)

新座市の子ども放課後居場所づくり事業の「石神ココフレンド」(石神小学校児童対象拠点)のコーディネーターを拝命して半年が経過した。平日、もう一人の中学校長で退職した人と交代で、半日勤務している。スタッフは4人、登録人員は、全校児童の約半数であるが、参加人員は平均すると30数名だろう。

その状況を理解して貰うためには、方言を要するかもしれない。が、「ココフレ便り」の巻頭言を読んで貰えれば、ある程度理解して貰えるのではないだろうか？因みに、もう一人のコーディネーター(本事業立ち上げ責任者)と分担して「ココフレ便り」を作成し、保護者等に配布している。その中の巻頭言を小生が担任している。その内の幾つかを紹介しよう。

### ○12月号：褒めること、叱ること

子どもたちと接していると実に様々なことが起こります。約束を守らなかったり、してはいけないことをした時など、私達は真剣に、そして時には厳しく叱ります。また、褒めてあげたくなるような場面にも度々であいますので、皆の前で褒めるようにしています。「7つ褒め、3つ叱って、良き人になせ」と言われます。私たちは可能な限り子供たちの良さを見つけて伸ばしてあげたいと思っています。

“怒る”のではなく、子供の眼を見つめ、じゅんじゅん 諄々と納得いくまで説明し理解させる様になっています。あの時に叱られて良かったと思える日が必ず来ることを信じつつ。

これからも褒めるべきことはもっともっと思いついて褒め、叱るべきは自信をもって叱っていきたいと思います。

### ○巻頭言 11月号：トラブルから何を学ぶか！

一年生も早いもので入学して半年が経過しました。ココフレンドでは、一年生に限らず、子ども同士の色々なトラブルもあれば、悪戯もあり、諍いもあり、その都度、泣いたり怒ったり、悪いと思ったら素直に謝ったりとスモール・ワールドにも様々な人間模様が展開されています。子どもたちには、事の善悪・是非、人の痛みや思いを知ることの大事さ、素直に謝ることの重要性、しこりを残さないことの必要性等を学んで欲しいと、指導しています。

けんか相手が無二の親友になることもあるでしょう。石神っ子は、様々な体験を通じて、社会性を身に付けてくれるだろうと期待しつつ見守っています。

### ○10月号：地域の子どもは地域で！

楽しい夏休みも終わり、ココフレンドも通常通りの態勢になりました。夏休みには、御協力を得て、紙飛行機作成、しおりづくり、和太鼓体験、防犯寸劇鑑賞、読み聞かせ

会、中学生アンサンブルの演奏等色々なイベントに参加しました。また地域の色々なイベントにも参加して素晴らしい体験になったものと思います。また地域の方々の日頃の登・下校時の見守り活動もあります。このようないろいろな形で地域の子どもの健全育成が出来ればと願っております。

今後は、更に地域の皆さんとの連携・協力を密にして、「地域の子供は地域で」との理念を達成できればと思います。色々な方からの色々な形のご協力・御支援を期待しております。

#### ○9月号：遊びを通じての成長を！

子供は遊びの天才です。一枚の紙、一個のボール或いは一寸したスペースや遊具を巧みに使い、自分遊びや多人数遊びを考え付き、皆でルールを決めて楽しんでいます。私共大人では考え付きません。このような子供たちの柔軟な創造性をもっと伸ばしてやりたいなあと思っています。子供たちにとって「遊び」は生活そのものなのかもしれませんね。皆と一緒に遊ぶことによって、規律心や協調性が養われ、他者の個性へ思いやりや暖か言葉の重要性を認識するのではないのでしょうか。学年の異なる子供同士で遊ぶことによってリーダーシップや低学年生への細やかな情愛が涵養されるのだと思います。遊びを通じ、「石神っ子」としての絆や一体感が生まれるものと信じています。

#### ○8月号(夏季特別号)：絆を強めるまたとない機会を最大限に活用しましょう！

夏休みが始まりました。夏休みは、家族の絆を強くする絶好の機会ですので、最大限にこの機会を活用して頂きたいものです。また、夏休みは、地域の絆を再確認するまたとない機会でもあると思います。地域の様々な活動やイベントに積極的に参加して地域の絆を強くして頂きたいものです。

云うまでもなく、児童の知・徳・体育面の健全育成のためには学校、家庭、そして地域の三位一体の活動が重要です。学校、または地域活動の一環であるココフレンドでの活動とは一味違う素晴らしい経験が子供達を待っているものと確信します。

児童に対する通り魔的な傷害事件が発生しました。痛ましいことです。地域全体で子供達の安全・安心を守るべく努力しましょう。

#### ○7月号

##### 子ども同士の交流によって成長しつつあります

子供たちは基本的には仲良く遊んでいます。ゲームや遊びで言い争いをする等の小さなトラブルもあります。また、上級生から駄目だよと言われることもありますし、悪いことをしたと気づいた時には素直にあやまります。妥協することもあり、譲ったり譲られたりすることも多々あります。子供たちは子供同士やスタッフとの多面的な交流を通じて成長しつつあるのではないのでしょうか。まだ、約束を守れない子どももいますが、

徐々に規範意識を身につけてくれるものと確信しています。

子どものスモール・ワールドにも色々あり、それらを体験して子供は社会性、協調性、リーダーシップ、他者への思いやり等を学び、成長していくのでしょう。

○5月号

**上級生が1年生の面倒を見てくれています！**

5月7日から、1年生が参加しています。平均20数名の1年生が毎日楽しく宿題をしたり、室内遊びに興じ、体育館や校庭で元気に走り回っています。最初は戸惑いがちであった子供たちも慣れてきたようです。最近では2年生等がお兄ちゃん、お姉ちゃんとして遊んでやったり、ゲームを教えたり、仲よく遊ぶように色々とアドバイスする等の微笑ましい状況が散見されます。クラスや学年の違う子供たちの交流が続くようにスタッフ一同見守っていきたいと思っています。